



Microsoft[®] System Center Operations
Manager 2007 SP1/R2 および System
Center Essentials 2007 SP1 用
Dell[™] Server Management Pack Suite
バージョン 4.0
ユーザーズガイド

メモおよび注意

 **メモ**：コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。

 **注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2009 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、PowerEdge、PowerVault および OpenManage は Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Vista および Windows Server は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。Dell Inc. はデル以外の商標や社名に対する所有権を一切否認しません。Dell は、外部のウェブサイトとそのコンテンツの利用について一切責任を持ちません。

2009年8月

目次

1	はじめに	7
	管理パックおよびマニュアルへのアクセス	7
	Dell Server Management Pack Suite v4.0 の新機能	8
	Dell Server Management Pack Suite v4.0 について	9
	Dell Hardware Group (ハードウェアグループ) の定義	9
	Windows サーバー	10
	Scalable Management Pack および Detailed Management Pack の比較	12
	Dell Chassis Management Controller (CMC)	13
	Dell Remote Access Controller (DRAC)	14
	対応 Dell デバイス	15
	対応 オペレーティングシステム	15
	DRAC および CMC デバイスの対応ファームウェアバージョン	15
	その他のマニュアル	16
	テクニカルサポートの利用法	18

2	はじめに	19
	管理ステーションの要件	19
	一般的な要件	19
	管理下システムの要件	20
	標準のユーザー権限で Management Server Action Account の設定	21
	SCOM への管理パックのインポート	21
	Dell Server Management Pack Suite v4.0 のインポート後のタスク	22
	Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン	25
	以前の管理パックからのアップグレード	25
	管理パックの削除	26
	セキュリティの注意事項	26
3	Dell Server Management Pack Suite の操作について	27
	検出およびグループ化	27
	警告およびトラップ	28
	タスク	28
	レポート	29
	カスタマイズ	29
	ウェブコンソール	29
	検出	30
	Dell ネットワークデバイス	31


監視	32
警告ビュー	32
Diagram View (ダイアグラムビュー)	33
状態ビュー	39
パフォーマンスおよび電源監視ビュー	40
タスク	41
Dell モジュラおよびモノリシックシステム のタスク	43
Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク	46
Dell Chassis Management Controller (CMC) タスク	46
レポート	47
OpenManage Windows イベントログ	48
BIOS の設定	48
ファームウェアおよびドライバ のバージョン	49
RAID 構成	49
Dell Server Management Pack Suite のカスタマイズ	50
ユニットモニター	50
Object Discoveries (オブジェクト検出)	53
ルール	54


A 付録 A- SCOM 2007 SP1/SCE SP1 の既知の問題	57
既知の制限	58
SCOM/ SCE	58
SCE	58
SCOM/ SCE および Dell Server Management Pack Suite v4.0	58
Dell Server Management Pack Suite v4.0	59
SCOM 2007 SP1 の Microsoft® フィックス	59
 用語集	 63
 索引	 67


はじめに

本文書は、Dell™ Server Management Pack Suite v4.0 を使用して Dell システムの管理および監視を行うシステム管理者を対象としています。

Dell™ Server Management Pack Suite v4.0 と Microsoft® Systems Center Operations Manager (SCOM) 2007 SP1/R2 または System Center Essentials (SCE) 2007 SP1 環境との統合により、Dell デバイスを管理および監視し、常に利用可能にすることができます。

 **注意：**本文書に記載される手順は、Microsoft Windows オペレーティングシステムおよび Systems Center Operations Manager 2007 SP1/R2 または System Center Essentials 2007 SP1 についての知識、そして使用経験がある作業員によってのみ、実施されるべきです。データ破損や損失の可能性があるため、デルは適切な作業員が本文書に記載されている手順を実施することを推奨します。

 **メモ：**既知の問題に加え、ソフトウェアおよび管理ステーションの要件に関する最新情報が記載された管理パックの readme ファイルをお読みください。readme ファイルは、デルのサポートウェブサイト (support.dell.com) のシステム管理説明書のページに掲載されています。readme ファイルは、自己解凍式実行ファイル Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.0_A00.exe としても提供されています。

 **メモ：**本文書における Systems Center Operations Manager (SCOM) 2007 SP1/R2 へのすべての参照は、System Center Essentials (SCE) 2007 SP1 にも適用されます。

管理パックおよびマニュアルへのアクセス

Dell™ Server Management Pack Suite v4.0 は、ベースフォルダユーティリティおよびオーバーライドユーティリティも含まれる 4 つの管理パックで構成されます。

4 つの管理パックは、次のとおりです。

- Dell.WindowsServer.Scalable.mp
- Dell.WindowsServer.Detailed.mp
- Dell.OutOfBand.CMC.mp
- Dell.OutOfBand.DRAC.mp

2つのユーティリティは、次のとおりです。

- Dell.Connections.HardwareLibrary.mp
- Dell.WindowsServer.InformationalAlertsOn.mp

4つの管理パックファイル、2つのユーティリティ、readme ファイル、および本ユーザーガイドは、自己展開形式の実行ファイルである

Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.0_A00.exe にパッケージ化されています。**.exe** ファイルは、デルのサポートサイト (support.jp.dell.com) からダウンロードできます。

Dell Server Management Pack Suite v4.0 の新機能

Dell Server Management Pack Suite v4.0 は、Dell デバイスを管理するための4種類の異なる管理パックを提供することで、以前のリリースと比較して、スケーラビリティおよびパフォーマンスの向上を実現しています。

- Dell Server Management Pack Suite v4.0 は、Dell Windows システムを管理するための2つの管理パックおよびオーバーライドユーティリティを提供しています。

表 1-1 Dell Windows システム用の管理パックとユーティリティ

管理パック/ユーティリティ の名前	ファイル名
Scalable Server Management Pack	Dell.WindowsServer.Scalable.mp
Detailed Server Management Pack	Dell.WindowsServer.Detailed.mp
Informational-alerts-On (情報警告 オン) オーバライドユーティリティ	Dell.WindowsServer.InformationalAlertsOn.mp

これら管理パックおよびユーティリティの詳細については、「Dell Server Management Pack Suite v4.0 について」を参照してください。

- Dell Server Management Pack Suite 4.0 には、次の2つの管理パックが含まれます。
 - Dell.OutOfBand.CMC.mp - Dell Chassis Management Controller (CMC) および DRAC/MC デバイスの管理に使用
 - Dell.OutOfBand.DRAC.mp - あらゆる Dell Remote Access デバイス (DRAC 4/DRAC 5/iDRAC 6 モジュールおよび iDRAC 6 モノリシックのみ) の管理に使用。

表 1-2 CMC、DRAC/MC、および Dell Remote Access 用管理パック

管理パック名	ファイル名
Dell Chassis Management Controller 管理パック	Dell.OutOfBand.CMC.mp
Dell Remote Access Controller 管理パック	Dell.OutOfBand.DRAC.mp

これら管理パックの詳細に関しては、「Dell Server Management Pack Suite v4.0 について」を参照してください。

- これらの4つの個別の管理パックは、共通のベースフォルダ ユーティリティ（Dell.Connections.HardwareLibrary.mp）を参照します。このユーティリティの詳細に関しては、「Dell Server Management Pack Suite v4.0 について」を参照してください。
- Diagram View（図表ビュー）、Alert View（警告ビュー）、および State View（状態ビュー）の他に、監視用の SCOM フレームワークで Dell Server Management Pack Suite v4.0 が提供する Dell 固有のユーザーインタフェース ビューは、Performance and Power Monitoring Views（パフォーマンスおよび電源監視ビュー）です。このフォルダには、Dell システムカウンタをグラフ形式で表示するビューが含まれています。

ユーザーインタフェースのビューの詳細に関しては、「監視」を参照してください。

以前のリリース（Dell MP v3.1.1 以前）では、サーバー、CMC、および DRAC に対して、Dell.Connections.001.mp の1つの管理パックしか提供されていません。Dell Server Management Pack Suite v4.0 は、パフォーマンスの向上を実現するために、独立した個別の管理パックを介して、サーバー、CMC および DRAC をサポートしています。

Dell Server Management Pack Suite v4.0 について

Dell Hardware Group（ハードウェアグループ）の定義

Dell.Connections.HardwareLibrary.mp のベースフォルダユーティリティは、Dell Hardware Group（ハードウェアグループ）を定義します。4つの個別の管理パックは、このベースフォルダユーティリティを参照します。このユーティリティといずれかの管理パックをインポートすると、対応する

ハードウェアコンポーネントが Dell Hardware Group（ハードウェアグループ）配下に置かれます。Dell の管理パックを削除/アンインストールすると、対応コンポーネントは Dell Hardware Group（ハードウェアグループ）から除外されます。

Windows サーバー

- Scalable Server Management Pack

Scalable Server Management Pack は、高いレベル（グループレベルまで）でコンポーネントをモデル化します。図 1-1 の上部の三角形に含まれるコンポーネントは、Scalable Server Management Pack によってモデル化されます。例えば、Memory（メモリ）コンポーネントは、Memory（メモリ）グループレベルまでしかモデル化されません。Memory Unit（メモリユニット）インスタンスは、この管理パックによってモデル化されません。

Scalable Server Management Pack を使用する際、企業データセンターにおける管理下システムの計装の詳細を正確にインスタンスレベルで把握するには、Dell OpenManage™ System Administrator を起動します。

モデル化されたコンポーネントのルール、タスクおよび監視は、この管理パックで定義されています。この管理パックでは、Informational Alerts（情報警告）はデフォルトで無効になっています。

Scalable Management Pack は、大規模な SCOM 環境にスケールする必要がある場合に、役に立ちます。デルは、管理下システムが 300 台を超える場合に、この管理パックを使用することを推奨します。

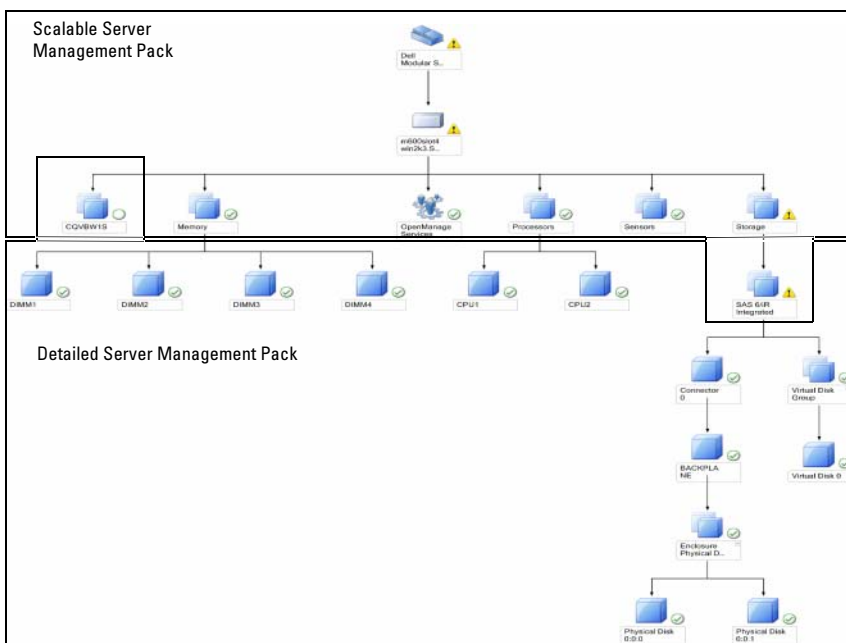
- Detailed Server Management Pack

Detailed Server Management Pack は、Scalable Server Management Pack の拡張版です。この管理パックは、Scalable Server Management Pack でモデル化されるコンポーネントの詳細をモデル化します。図 1-1 では、下部の三角形に含まれるすべてのコンポーネントが、この管理パックによってモデル化されます。たとえば、Memory Units（メモリユニット）はこの管理パックによってモデル化され、このモデルは、Scalable Server Management Pack でモデル化された Memory（メモリ）グループに属します。この管理パックでは、Informational Alerts（情報警告）はデフォルトで無効になっています。

- **Informational-alerts-On (情報警告オン) オーバライドユーティリティ**

このオーバライドユーティリティは、オーバライドでもって、Scalable Server Management Pack の一部として定義されているすべての情報警告を有効にします。したがって、このユーティリティをインポートする前に、必ず Scalable Server Management Pack をインポートするようにしてください。

図 1-1 Dell 管理パック



Detailed バージョンから Scalable バージョンに移行すると、Detailed Server Management Pack は SCOM コンソールから削除されます。そのため、拡張コンポーネント上で検出および属性情報を表示することはできません。

Dell Server Management Pack Suite v4.0 は、Dell Windows システムおよび帯域外 Dell デバイスを管理するための以下の機能を提供しています。

- Detailed または Scalable Management Pack を選択するオプションにより、スケーラビリティを提供。
- Dell OpenManage™ Server Administrator で情報警告または詳細な監視機能を使用できるオプションも用意。
- Dell モノリシックおよびモジュラシステムの検出およびグループ化
- iDRAC、DRAC、および IPMI デバイスの帯域内属性インベントリ
- Performance and Power Monitoring Views (パフォーマンスおよび電源監視ビュー) を使った電力および温度の監視
- 拡張モードでインスタントレベルデータの収集の代わりに、拡張性を高めるために、Dell のハードウェアをグループレベルで管理。

Scalable Management Pack および Detailed Management Pack の比較

表 1-3 は、Scalable Management Pack および Detailed Management Pack を最適に利用するために必要な環境について説明しています。

表 1-3 Scalable Management Pack と Detailed Management Pack の比較

プロパティ	Scalable Management Pack	Detailed Management Pack
依存関係	Scalable Management Pack は、Base Management Pack に依存しています。	Detailed Management Pack は、Base Management Pack と Scalable Management Pack のどちらにも依存しています。Scalable Management Pack をインポートした後にしか、Detailed Management Pack をインポートすることはできません。

表 1-3 Scalable Management Pack と Detailed Management Pack の比較 (続き)

プロパティ	Scalable Management Pack	Detailed Management Pack
情報レベル (属性)	Scalable Management Pack は、Memory (メモリ)、Processors (プロセッサ)、および Storage Controllers (ストレージコントローラ) などのノードのルートレベルの情報のみを表示できます。Detailed Management Pack と比較して、サポートされるダイナミック属性は少なくなります。	Detailed Management Pack は、Memory (メモリ) および Processors (プロセッサ) について、追加レベルの情報を提供しません。Storage Controller (ストレージコントローラ) に対して、構成によっては、ルートから 3 から 4 レベルの情報が提供されます。また、Detailed Management Pack では、BIOS のノード情報も提供されます。
スケーラビリティ	Scalable Management Pack は、非常に多い数の Dell システムの検出および監視に利用できます。デルは、管理下システムが 300 台を超える場合に、この管理パックを使用することを推奨します。	Detailed Management Pack は、少ない数のシステムの検出および監視に最も適しています。
パフォーマンス	Scalable Management Pack を利用したインベントリおよび監視は、Detailed Management Pack と比較して速くなります。	Scalable Management Pack より遅くなります。
レポート	この管理パックでは、OpenManage Windows イベントログのレポートのみを利用できます。	この管理パックでは、BIOS 設定、ファームウェアとドライバのバージョン、および RAID 構成の各種レポートを利用できます。

Dell Chassis Management Controller (CMC)

この管理パックは、Chassis Management Controller および DRAC/MC の検出、監視、そして警告処理をサポートしています。

この管理パックは、Dell Server Management Pack Suite v4.0 の以下の機能を提供しています。

- **Diagram View (図表ビュー)** での CMC および DRAC/MC インスタンスの検出およびグループ化
- CMC および DRAC/MC の属性情報
- CMC および DRAC/MC の SNMP トラップ処理およびナレッジベース
- CMC および DRAC/MC の正常性監視 - 通常の 6 時間間隔および SNMP トラップの発生時
- DRAC および CMC デバイスのコンソールタスクの実行

Dell Remote Access Controller (DRAC)

この管理パックは、さまざまな世代の Dell Remote Access (DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6 モジュラシステム、iDRAC 6 モノリシックシステム) の検出、監視、および警告処理をサポートしています。これらの Remote Access デバイスは、Dell Remote Access Group (リモートアクセスグループ) 配下にグループ化されます。

この管理パックは、Server Management Pack Suite v4.0 の以下の機能を提供しています。

- DRAC 4、DRAC 5、および iDRAC 6 (モジュラおよびモノリシック) の検出と **Diagram View (図表ビュー)** でのこれらデバイスのグループ化
- SNMP トラップの処理および Dell Remote Access のナレッジベース
- Dell Remote Access デバイスの正常性の監視 - 通常の 6 時間間隔および SNMP トラップのステータスポール発生時
- 一連の SNMP トラップおよびプラットフォームイベント トラップのサポート
- Dell Remote Access コンソールタスクの実行



メモ : Dell Remote Access Controller Management Pack は、iDRAC のハードウェアの制限により、xx0x iDRAC モジュラコントローラの帯域外システムの検出をサポートしていません。iDRAC xx0x モジュラコントローラを管理するには、Detailed Server Management Pack または Scalable Server Management Pack を使用します。xx0x iDRAC は、サーバーインベントリの一部として帯域内で検出されます。

対応 Dell デバイス

以下の Dell デバイスが Dell Server Management Pack Suite v4.0 でサポートされています。

- Dell PowerEdge™ システム - x8xx から xx1x のシステムの完全サポート、ならびに x6xx および x7xx システムの限定サポート。
- Dell PowerVault™ システム - x8xx から xx1x のシステムの完全サポート、ならびに x6xx および x7xx システムの限定サポート (ipmish タスクはサポートなし)。



メモ : PowerEdge および PowerVault のどちらのシステムも、Detailed Server Management Pack および Scalable Server Management Pack でサポートされています。

- DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6 (DRAC Management Pack および CMC との連携)、および DRAC/MC (CMC Management Pack との連携)。

対応 オペレーティングシステム

Dell Server Management Pack Suite v4.0 の対応オペレーティングシステムの最新情報については、readme ファイルを参照してください。デルサポートサイト (support.dell.com) の Systems Management マニュアルページ、または Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.0_A00.exe の自己展開形式の管理パック実行ファイルから readme ファイルにアクセスできます。SCOM/SCE 用管理ステーションでサポートされているオペレーティングシステムのリストは、Microsoft のウェブサイト

[http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb309428(en-us).aspx) を参照してください。

DRAC および CMC デバイスの対応ファームウェアバージョン

DRAC および CMC デバイスの対応ファームウェアの最小バージョンについては、readme ファイルを参照してください。デルサポートサイト (support.dell.com) のシステム管理説明書のページ、または Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.0_A00.exe の自己展開形式の管理パック実行ファイルから readme ファイルにアクセスできます。

その他のマニュアル

本ユーザーガイドに加え、デルのサポートに関するウェブサイト (support.dell.com) に掲載されている以下のガイドも参照することが必要な場合があります。

- 『Dell Integrated Remote Access Controller ユーザーズガイド』には、iDRAC の設定および使用についての詳細が記載されています。
- 『Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド』には、CMC のインストール、設定、および使用についての詳細が記載されています。
- 『Dell OpenManage インストールとセキュリティユーザーズガイド』は、詳しいインストール手順と、サポートされているオペレーティングシステム別の Server Administrator のインストール、アップグレード、およびアンインストールの方法を説明しています。
- 『Dell OpenManage Software クイックインストールガイド』は、管理ステーション（コンソール）と管理下システムにインストール可能なアプリケーションの概要を記載しています。また、この文書には、サポートされるオペレーティングシステムにコンソールと管理ステーションのアプリケーションをインストールする手順も記載されています。
- 『Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド』は、対応オペレーティングシステムが稼動している各種ハードウェアプラットフォームに Server Administrator をインストールして操作するときの互換性に関する情報を提供しています。
- 『Dell OpenManage Server Administrator CIM リファレンスガイド』は、CIM（Common Information Model）プロバイダ、標準の MOF（management object format）ファイルの拡張子について説明しています。CIM プロバイダの MOF のマニュアルでは、管理オブジェクトのサポートされているクラスについて説明しています。
- 『Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド』は、Server Administrator ホームページの警告ログまたはオペレーティングシステムのイベントビューアに表示されるメッセージ一覧を掲載しています。このガイドは、Server Administrator が発行する各警告メッセージのテキスト、重大度、および原因について説明しています。

- 『Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド』は、システムステータスの表示、ログへのアクセス、レポートの作成、コンポーネントの各種パラメータの設定、重要なしきい値の設定などを CLI コマンドを使って実行する方法のほか、Server Administrator のコマンドラインインタフェースについても詳しく説明しています。
- 『Dell OpenManage Baseboard Management Controller ユーティリティユーザーズガイド』は Server Administrator を使ったシステムの BMC 設定および管理についての追加情報を提供します。
- 『Dell Remote Access Controller 4 ユーザーズガイド』では、DRAC 4 コントローラのインストールと設定方法、および DRAC 4 を使用した作動不能システムへのリモートからのアクセス方法に関する完全情報を提供します。
- 『Dell Remote Access Controller 5 ユーザーズガイド』では、DRAC 5 コントローラのインストールと設定方法、および DRAC 5 を使用した作動不能システムへのアクセス方法に関する情報を完全に網羅しています。
- 『Dell Remote Access Controller Racadm ユーザーズガイド』では、racadm コマンドラインユーティリティの使い方についての情報を提供します。
- 『Dell Life Cycle Controller ユーザーズガイド』は、システムのライフサイクルにわたって、システムおよびストレージ管理タスクを行うための、Life Cycle Controller の設定および使用に関する情報を提供しています。オペレーティングシステムを導入したり、RAID（個別ディスクの冗長アレイ）を設定したり、診断を実行して、システムとそれに接続しているハードウェアを検証するために、Life Cycle Controller を使用することができます。Life Cycle Controller は、ブートシーケンス時に起動させ、オペレーティングシステムとは独立して機能させることが可能です。

『Dell Systems Management Tools and Documentation DVD』には、Server Administrator の readme ファイルおよび DVD に含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションの readme ファイルが収録されています。

テクニカルサポートの利用法

このマニュアルに記載した手順に不明な点がある場合や、お使いの製品が予想どおりに動作しない場合は、さまざまなヘルプをご利用いただけます。詳細については、ご利用のシステムの『ハードウェア所有者マニュアル』の「困ったときは」を参照してください。

さらに、Dell エンタープライズのトレーニングと資格認定もご利用いただけます。詳細については、www.dell.com/training を参照してください。このサービスが提供されていない地域もあります。

はじめに

管理ステーションの要件

一般的な要件

- ネットワーク上の Windows システムの検出と Operations コンソールを介した SCOM エージェントのインストールを行うには、すべての管理下システムに、管理ステーションから ping できる有効な完全修飾ドメイン名 (FQDN) を割り当てる必要があります。
- DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6、DRAC/MC、および CMC を検出するには、帯域外ネットワークデバイスの検出を実施します。また、SNMP が有効になっている必要があります。

Windows サーバー

- すべての Dell 管理下システムにおいて、SCOM Management Server Action Account に標準のユーザー権限しか付与されていなくても、Dell Server Management Pack Suite v4.0 は動作しますが、使用できる機能は制限されます。追加機能を使用するには、Management Server Action Account に以下の権限が付与されている必要があります。

表 2-1 Management Server Action Account の権限

機能	ユーザー権限
Dell モノリシックサーバーの帯域内 DRAC 検出お 管理者またはパワーユーザー よび DRAC コンソールの起動	
Clear ESM Log (ESM ログのクリア)	管理者またはパワーユーザー

あるいは、Clear ESM Log (ESM ログのクリア) タスクについて、Management Server Action Account に標準のユーザー権限が付与されている場合、Use the predefined Run as Account (事前定義の実行アカウントを使用する) を選択する代わりに、Clear ESM Logs (ESM ログのクリア) タスクを実行するためのパワーユーザー以上の資格情報を入力できます。

- Dell 管理下システム上で Remote Power Control（リモート電源制御）タスクまたは LED Identification Control（LED 識別表示の制御）タスクを実行するには、管理ステーションに BMC Management Utility バージョン 2.0 がインストールされている必要があります。
BMC Management Utility は、『Dell Systems Management Tools and Documentation DVD』に収録されています。
- 管理下システムの属性に IPv6 アドレスが存在する場合は、管理ステーションで IPv6 を有効にして設定します。

管理下システムの要件

以下が Dell システムを管理下システムにするための要件です。

- Dell OpenManage™ Server Administrator（Server Administrator Storage Management Service を含む）をインストールします。
 - デルは、最新の Dell OpenManage Server Administrator 6.1 をインストールすることを推奨します。
 - サポートされる最小バージョンは、Dell OpenManage Server Administrator 5.3 以降です。

Server Administrator の最新バージョンは、デルのサポートウェブサイト (support.dell.com) からダウンロードできます。



メモ：システムに Server Administrator 5.3 より前のバージョンがインストールされている場合、システムは「Unmanaged（管理外）」配下にグループ化され、監視は無効になります。

- ご利用の Dell システムに Dell Remote Access Controller（DRAC）がインストールされている場合は、『Dell Systems Management Tools and Documentation DVD』に収録されている DRAC エージェントをインストールします。DRAC エージェントの最新バージョンは、デルのサポートウェブサイト (support.dell.com) からダウンロードできます。
- BMC に有効な IP アドレスを設定し、Advanced power control（アドバンス電源制御）および LED identification（LED 識別表示）タスクがエラーなく実行できるように、ネットワークの接続性を確保します。
- Dell システムとして認識させたいデバイスについては、対象の管理下システムにローカルまたはリモートから管理サーバーエージェントをインストールする必要があります。

標準のユーザー権限で Management Server Action Account の設定

標準のユーザー権限で Management Server Action Account を設定するには、次の手順に従います。

- 1 Management Server Action Account をドメインユーザー（ドメイン管理者ではない）として、管理ステーションに SCOM 2007 SP1/R2 をインストールします。
- 2 管理下システムに Operations Manager Agent をインストール（自動エージェントプッシュ / 手動インストール）します。エージェントをインストールできるように、Management Server Action Account をローカル管理者グループに追加します（上記の手順 1 - ドメインユーザーと同様に）。
- 3 Operations Manager コンソールで管理下システムの検出および監視が開始されたら、Management Server Action Account を Local Admin（ローカル管理者）グループに降格します。ユーザーが管理者でないことを確実にするためには、再起動が必要な場合もあります。
- 4 Management Server Action Account ユーザーがパワーユーザー / 管理者ユーザーではないアカウントにしたら、管理ステーションに Dell 管理パックをインポートします。
- 5 管理下システムが管理パックによって検出されるまで待ちます（この時間は、検出の周期によって異なります）。

SCOM への管理パックのインポート

管理パックまたはユーティリティをインポートする際は、以下もインポートするようにしてください。

- 4つのいずれかの管理パックをインポートする前に、ベースフォルダユーティリティをインポートします。
- Detailed Server Management Pack または Informational-alerts-On オバライドユーティリティをインポートする前に、Scalable Server Management Pack をインポートします。

管理パックまたはユーティリティをインポートするには、SCOM Import Management Pack（SCOM 管理パックのインポート）ウィザードを使用します。

- 1 デルサポートサイト (support.dell.com) から管理パックまたはユーティリティをダウンロードします。

このファイルは、自己展開形式の .exe ファイルです (Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.0_A00.exe)。

- 2 ダウンロードしたファイルをローカルシステムのハードドライブ上の指定ディレクトリにコピーします。
- 3 Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.0_A00.exe ファイルを開き、管理パックまたはユーティリティを解凍します。
- 4 **スタート → すべてのプログラム → System Center Operations Manager 2007** の順でクリックし、**Operations Console (操作コンソール)** を選択します。
- 5 **Operations コンソール** のナビゲーションページで、**Administration (管理)** をクリックします。
- 6 **Administration (管理)** ツリーを展開し、**Management Packs (管理パック)** を右クリックして、**Import Management Packs (管理パックのインポート)** を選択します。
- 7 **追加** をクリックします。**Add from disk (ディスクから追加)** オプションを選択します。
- 8 管理パック / ユーティリティファイルの保存場所を指定します。これは通常、Dell_Server_Management_Pack_Suite_v4.0_A00.exe ファイルをダウンロードし、解凍した場所と同じです。
- 9 インポートする管理パック / ユーティリティを選択し、**Open (開く)** をクリックします。
Import Management Packs (管理パックのインポート) 画面が表示され、**Import List (インポートリスト)** に選択した管理パックおよびユーティリティが表示されます。
- 10 タスクを完了するには、**Install (インストール)** をクリックします。

Dell Server Management Pack Suite v4.0 のインポート後のタスク

SCOM 管理ステーションには、BMC Management Utility (BMU) 2.0 以降をインストールします。

最新の BMC Management Utility は、デルサポートサイト (support.dell.com) からダウンロードできます。

Advanced power Control (アドバンス電源制御) および LED Identification (LED 識別表示) タスクは、デフォルトの BMC 資格情報を使用します。これには、変更することができないデフォルトの英語版のオペレーティングシステム BMU インストールパス (C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc) も含まれます。

Advanced power Control (アドバンス電源制御) および LED Identification (LED 識別表示) タスクの場合、システムに異なる BMC 証明がある場合、BMU が 64 ビットプログラムファイルパスまたは管理テーションのデフォルト以外の BMU インストールパスにインストールされている場合、またはローカライズされたプログラムファイルパスが英語版のオペレーティングシステム BMU インストールパスと異なる場合は、オペレータコンソールシステムに BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソールタスクを BMC for Dell Server (Dell サーバー用 BMC) をターゲットとする Authoring (オーサリング) ペインに作成する必要があります。

- 1 Authoring (オーサリング) ペインの Management Pack Objects (管理パックオブジェクト) 配下の Tasks (タスク) を右クリックし、Create new task (新規タスクの作成) を選択します。

Create Task Wizard (タスクの作成ウィザード) が表示されます。

- 2 Task Type (タスクの種類) 画面で、Console Tasks (コンソールタスク) 配下の Command line (コマンドライン) を選択します。Next (次へ) をクリックします。

General Properties (一般プロパティ) 画面が表示されます。

- 3 Task name (タスク名)、Description (説明) を入力し、Task Target (タスクターゲット) に Dell Windows Server を選択して、Next (次へ) をクリックします。

Command Line (コマンドライン) 画面が表示されます。

- 4 Application (アプリケーション) フィールドに ipmitool.exe アプリケーションへのパス (Operator コンソールの BMU のインストール先パス) を入力します。例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe (デフォルトの BMU パスは、使用するオペレーティングシステムの言語により異なります。) 2つの LED 識別タスクの場合、アプリケーションパスは C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe (デフォルトの BMU パスは使用するオペレーティングシステムの言語により異なります) となります。

- 5 電源制御タスクの場合、Parameters (パラメータ) フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
- `-I lan -H` と入力し、ドロップダウンメニューから **Remote Access IP with IPMI capability (IPMI 機能ありのリモートアクセス IP)** を選択します。
 - `-U <ユーザー名> -P <パスワード> -k <kgkey> <IPMI タスク文字列>` と入力します。
 - `<IPMI タスク文字列>` を次のいずれかのオプションと置き換えます。
 - `power status` (電源ステータスの確認 タスク)
 - `power on` (電源オン タスク)
 - `power soft` (電源オフ正常 タスク)
 - `power off` (強制電源オフ タスク)
 - `power cycle` (パワーサイクル タスク)
 - `power reset` (電源リセット タスク)
 - `identify on` (LED 識別表示オン タスク)
 - `identify off` (LED 識別表示オフ タスク)
- コマンドラインパラメータの入力例：
- ```
-I lan -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server40025!DellServer.RemoteAccessIP"]$ -U <ユーザー名> -P
<パスワード> -k <kgkey> power status
```
- 6 LED のオン/オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
- `-ip` と入力し、ドロップダウンメニューから **Remote Access IP with IPMI capability (IPMI 機能ありのリモートアクセス IP)** を選択します。
  - `-u <ユーザー名> -p <パスワード> -k <kgkey> <IPMI タスク文字列>` と入力します。
- 7 **Create (作成)** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。



# Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン

最適な性能を得るためには、異なる管理ステーションにデバイス固有の Dell 管理パックを導入します。

Microsoft が推奨する拡張性に関する情報については、Microsoft のウェブサイト

[http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/hi-in/library/bb735402(en-us).aspx) を参照してください。



**メモ** : Autogrow Option (オートグローオプション) が Operations Manager Data Warehouse (操作マネージャデータ倉庫) および / またはデータベースで有効になっていることを確認します。

## 以前の管理パックからのアップグレード

以前の管理パックバージョンからのアップグレードはサポートされていません。以前の Dell Server MP (3.0、3.1、または 3.1.1) のバージョンを削除してから、Systems Center Operations Manager に Dell Server Management Pack Suite v4.0 をインストールする必要があります。Dell Server Management Pack Suite v4.0 のインポート手順の詳細については、「はじめに」を参照してください。



**メモ** : Dell Server Management Pack Suite v4.0 の管理パックをインポートする前に、必ず Dell Server Management Pack 3.x (Dell.Connections.001.mp) を削除するようにしてください。

## 管理パックの削除

管理パックまたはユーティリティを削除する際は、以下も削除するようにします。


- Scalable Server Management Pack の削除前に、Detailed Server Management Pack を削除します。
- Scalable Server Management Pack を削除する前に、Informational-alerts-On オーバーライドユーティリティを削除します。

また、ベースフォルダユーティリティを削除する前に、4つの個別の管理パックを削除するようにしてください。

管理パックまたはユーティリティを削除するには：

- 1 Systems Center Operations Manager 2007 Operations コンソールで、Administration (管理) → Management Packs (管理パック) の順に選択します。
- 2 Management Packs (管理パック) ペインで削除したい Dell 管理パック / ユーティリティを選択します。
- 3 選択した Dell 管理パック / ユーティリティを右クリックして、Delete (削除) をクリックします。

管理パック / ユーティリティの削除後、デルは SCOM コンソールを一度閉じて、また開くことを推奨します。

 **メモ：** 管理パックを削除することで、一部のユーザーの役割の範囲に影響を及ぼす可能性があります。

## セキュリティの注意事項

Operations コンソールへのアクセス権は、SCOM の内部で処理されます。これは、SCOM コンソールの Administration (管理) → Security (セキュリティ) 機能の User Roles (ユーザー役割) オプションで設定できます。割り当てられた役割のプロファイルにより、実施できるアクションが決定されます。セキュリティに関する注意事項の詳細については、Microsoft Operations Manager 2007 SP1 / Microsoft Systems Centre Essentials SP1 オンラインヘルプを参照してください。

# Dell Server Management Pack Suite の操作について

## 検出およびグループ化

Dell Windows システムは、SCOM エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。Dell

OpenManage™ Server Administrator をインストールしておらず、反応しない制御サービスを持ち、あるいは Server Administrator 5.3 以前のバージョンを持つ Dell システムは、「アンマネージド」としてグループ化されます。

## Windows サーバー

- Dell® PowerEdge® および PowerVault® システムの検出および監視を行い、システムの識別および管理を容易にするために、OpenManage Server Administrator (バージョン 5.3 ~ 6.1) が稼動するシステム (モジュラおよびモノリシック) をグループ化します。
- 検出された Windows システムを分類し、Monolithic Server Group (モノリシックサーバー グループ)、Modular Systems Group (モジュラシステムグループ)、および Dell Unmanaged Servers Group (Dell 管理外サーバーグループ) にグループ化します。
- 詳細なストレージコントローラ情報のインベントリを提供します。
- Dell™ Lifecycle Controller および Remote Access ハードウェアの属性情報を収集します。
- 検出されるハードウェアコンポーネントは、メモリ、電源装置、プロセッサ、センサー (電流、バッテリー、ファン、温度、電圧、およびインテリジェーション)、Life Cycle コントローラ、BIOS、および Remote Access コントローラで構成されます。

## Dell Modular Chassis Remote Access

- ネットワーク上の CMC、DRAC/MC インスタンスを検出し、監視します。
- CMC および DRAC/MC インスタンスは、Dell Modular Chassis Group (Dell モジュラシャーシグループ) 配下にグループ化されます。

## Dell Remote Access Controller

- ネットワーク上の DRAC 4、DRAC 5、および iDRAC 6（モジュラとモノリシック）デバイスを検出し、監視します。
- DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6 モジュラ、および iDRAC 6 モノリシックの各インスタンスは、Dell Remote Access 4 Group、Dell Remote Access 5 Group、iDRAC 6 Modular Group、および iDRAC 6 Monolithic Group にそれぞれグループ化されます。



**メモ** : Dell Remote Access Controller Management Pack は、iDRAC ハードウェアの制限により、xx0x iDRAC モジュラコントローラの帯域外システムの検出をサポートしていません。iDRAC xx0x モジュラコントローラを管理するには、Detailed Server Management Pack または Scalable Server Management Pack を使用します。xx0x iDRAC は、サーバーインベントリの一部として帯域内で検出されます。

## 警告およびトラップ

- Dell PowerEdge システムの Dell OpenManage Server Administrator から受け取ったイベントの警告を表示します。
- 情報警告も含めるオプションも提供されます。
- DRAC 4、DRAC 5、iDRAC 6、DRAC/MC、および CMC のトラップをサポートしています。
- Dell システムのプラットフォーム イベント トラップ (PET) サポートを提供します。

## タスク

- Server Management Pack のタスクを提供します。
  - Server Administrator の起動
  - Dell Modular Chassis Remote Access Console 起動
  - 帯域内 Dell RemoteAccess コンソールの起動
  - Dell システムの ESM ログのクリア
- Remote Access Management Pack のタスクを提供します。
  - Dell RemoteAccess コンソールの起動
  - Dell CMC コンソールの起動

- BMC が搭載される Dell システムに Intelligent Platform Management Interface (IPMI) タスクを提供します。
  - 電源ステータスの確認
  - 電源オン
  - 強制電源オフ
  - 正常電源オフ
  - パワーサイクル（電源再投入）
  - 電源リセット
  - LED 識別表示オン
  - LED 識別表示オフ

## レポート

次のレポートを提供：

- OpenManage Windows イベントログ
- Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 構成の各種レポート

## カスタマイズ

Dell デバイスの検出および監視のカスタマイズと設定を可能にします。

## ウェブコンソール

ウェブコンソール サーバーを利用することで、Operations Manager 2007 コンソールの代わりにブラウザを使用して、Dell Server Management Pack Suite で Dell デバイスの監視および管理が可能になります。Operations コンソールをインストールせずに、ウェブコンソール サーバーを利用できます。ウェブコンソールの使用には以下の制限があります：

- すべての管理パックに対して、監視機能のみが提供されます。
- サーバー管理パックに対して、Clear ESM Log (ESM ログのクリア) タスクのみを表示します。

- DRAC および CMC Management Pack の場合：
  - コンソール起動タスクを使用できません。
  - Administration（管理）、Authoring（オーサリング）、および Reporting（レポート）機能は利用できません。
  - Personalize view（個人ビュー）は使用できません。
  - オーバーライドユーティリティで情報をインポートした後も、情報警告は抑制されます。
  - 最初の 200 個の警告のみが Alert view（警告ビュー）に表示されます。

## 検出

Dell デバイスを検出するには、Operations コンソールの **Administration（管理）** セクション配下の **Agent Managed view（エージェント管理ビュー）** にデバイスが表示されなければなりません。

**Agent Managed（エージェント管理）** リストに Dell システムを追加するには：

- 1 SCOM Management Group（SCOM 管理グループ）の SCOM Administrators（管理者）の役割を担うアカウントでシステムにログインします。
- 2 Operations コンソールで **Administration（管理）** をクリックします。
- 3 ナビゲーションペインの最下部の **Discovery Wizard（検出ウィザード）** をクリックします。Introduction（はじめに）画面が表示されません。
- 4 Introduction（はじめに）画面の指示をお読みになってから、Next（次へ）をクリックします。
- 5 Dell モジュラおよびモノリシックシステムを検出するには、Automatic Computer Discovery（自動コンピュータ検出）を選択して、Next（次へ）をクリックします。
  - a Administrator Account（管理者アカウント）画面でユーザーアカウントの詳細を入力し、Discover（検出）をクリックします。Discovery Progress（検出の進行状況）ページが表示されます。

- b Select Objects to Manage (管理するオブジェクトの選択) ページで、管理するデバイスを選択して、Next (次へ) をクリックします。
- c Summary (概要) 画面上で、エージェントインストールディレクトリへのパスを指定し、Agent Action Account (エージェントアクションアカウント) の資格情報を入力して、Finish (完了) をクリックします。



**メモ**：計装コンポーネントが実行されていない、または Server Administrator 5.3 以降がインストールされていない Dell Windows システムは、Dell Unmanaged systems (Dell 管理外システム) としてグループ化されます。

## Dell ネットワークデバイス

Dell DRAC および CMC デバイスを検出するには、次の手順に従います。

- 1 「検出」に記載される手順 1 ～ 4 に従います。
- 2 Advanced Computer Discovery (アドバンス コンピュータ検出) を選択し、Computer & Device Types (コンピュータ & デバイスタイプ) メニューから Network Devices (ネットワークデバイス) を選択して、Next (次へ) をクリックします。
- 3 スキャンする IP アドレス範囲の Start (開始) および End (終了) アドレスを入力し、SNMP コミュニティを入力して、SNMP パージョンを選択します。
- 4 Discover (検出) をクリックします。Discovery Progress (検出の進行状況) ページが表示されます。
- 5 Select Objects to Manage (管理するオブジェクトの選択) ページで、管理するデバイスを選択して、Next (次へ) をクリックします。
- 6 完了 をクリックします。



**メモ**：検出インターバルを、操作コントロールの認証ペインからオーバーライドできます。iDRAC 6 モジュールの検出インターバルをオーバーライドするには、両方の検出機能 (DRAC5/iDRAC Discovery および Dell Integrated Remote Access (Modular) Discovery) の検出インターバル期間を変更します。


# 監視

Dell Server Management Pack Suite v4.0 では、以下のビューを利用できます。

## 警告ビュー

このビューは、Dell Windows システム、Dell CMC および DRAC/MC、そして Dell Remote Access デバイスの管理に使用できます。次の個別の警告ビューが表示されます。

- サーバー
- リモートアクセス
- CMC
- DRAC MC
- PET トラップ

 **メモ** : Remote Access view (リモートアクセスビュー) は、DRAC 4、DRAC 5、および iDRAC 6 の警告を表示します。

Operations コンソールの **Monitoring (監視)** セクションで、**Dell → Alerts Views (警告ビュー) → Server Alerts (サーバー警告)** には、アラートの深刻度、解決状況、または割り当てられた警告などの特定の条件に基づいて、警告を表示できます。**Alert Details (警告の詳細)** ペインで詳細を表示する警告を選択します。

サーバーに関連付けられた警告を Alert View (警告ビュー) から選択すると、**Actions (アクション)** ペインの **Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク)** 配下に **Launch Server Administrator (Server Administrator の起動)** および **Clear ESM Logs (ESM ログのクリア)** の起動ポイントが表示されます。DRAC/MC デバイスに関連づけられた警告を Alert View (警告ビュー) から選択すると、**Actions (アクション)** ペインに **Launch Dell Modular Chassis Remote Access Console (Dell モジュラシャーシ リモートアクセスコンソールの起動)** が表示されます。CMC デバイスに関連づけられた警告を Alert View (警告ビュー) から選択すると、**Actions (アクション)** ペインに **Launch Dell CMC Console (Dell CMC コンソールの起動)** が表示されます。DRAC デバイスに関連付けられた警告を Alert View (警告ビュー) から選択すると、**Actions (アクション)** ペインに **Launch Dell Remote Access Console (Dell Remote Access Console の起動)** が表示されます。



## Diagram View (ダイアグラムビュー)

このビューは、Dell Windows システム、Dell CMC および DRAC/MC、そして Dell Remote Access デバイスの管理に使用できます。Operations コンソールの Monitoring (監視) セクションで、Dell → Diagram Views (ダイアグラムビュー) を選択すると、SCOM が管理するネットワーク上のすべての Dell デバイスが、階層的かつグラフィカルに表示されます。Dell Server Management Pack Suite v4.0 では、次のダイアグラムビューが用意されています。

- Complete Diagram View (完全ダイアグラムビュー)
- Modular Systems Diagram (モジュラシステム ダイアグラム)
- Monolithic Servers Diagram (モノリシックサーバー ダイアグラム)
- Chassis Management Controllers Group (シャーシ管理コントローラグループ)
- Remote Access Controllers Group (リモートアクセス コントローラグループ)

Complete Diagram View (完全ダイアグラムビュー) では、次のデバイスおよびコンポーネントを監視できます。

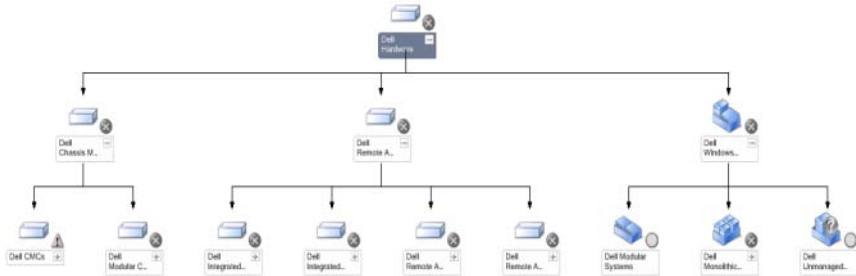
- モジュラおよびモノリシック システム
  - 電源ユニット
  - センサー
  - メモリ
  - プロセッサ
  - Dell OpenManage ソフトウェアサービス
  - ストレージコントローラ
  - BIOS オブジェクト (インベントリのみ)
- DRAC デバイス
- CMC および DRAC/MC デバイス



**メモ** : Operations コンソールの Actions (アクション) ペインからデバイス / コンポーネント固有のタスクを実行できます。タスクの実行の詳細に関しては、「タスク」を参照してください。

## All Groups Diagram (全グループダイアグラム)


図 3-1 Dell All Groups Diagram (Dell 全グループダイアグラム) - Detailed



### Management Pack

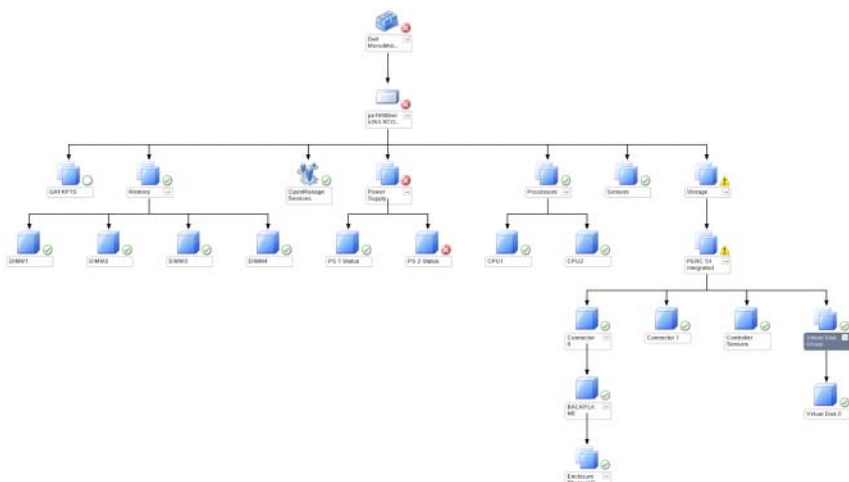
Operations コンソールで Dell Complete Diagram View (Dell 完全ダイアグラムビュー) にアクセスするには、Dell → Diagram Views (ダイアグラムビュー) → Complete Diagram View (完全ダイアグラムビュー) の順番でクリックします。

Complete Diagram View (完全ダイアグラムビュー) は、SCOM 2007 SP1/R2 が管理するすべての Dell デバイスをグラフィカルに描写し、ダイアグラムから各デバイスとそのコンポーネントのステータスを確認できます。Complete Diagram View (完全ダイアグラムビュー) では、Modular Systems (モジュラシステム)、Monolithic Systems (モノリシックシステム)、Chassis Management Controllers Group (シャーシ管理コントローラグループ)、および Remote Access Controllers Group (リモートアクセスコントローラグループ) の詳細を表示できます。Detail View (詳細ビュー) ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

 **メモ** : Dell Hardware Group (Dell ハードウェアグループ) は、Base Management Pack で定義されています。

## Dell Server Instance Diagram (Dell サーバーインスタンス ダイアグラム)

図 3-2 Dell Server Instance Diagram (Dell サーバーインスタンス ダイアグラム) - Detailed Management Pack



特定システムのダイアグラムを表示するには、いずれの Dell ダイアグラムビューから対象の Dell サーバーインスタンスを選択します。特定システムのダイアグラムでは、Dell システムのメモリ、電源装置、プロセッサ、OpenManage サービス、およびストレージコントローラの状態を示します。Detail View (詳細ビュー) ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

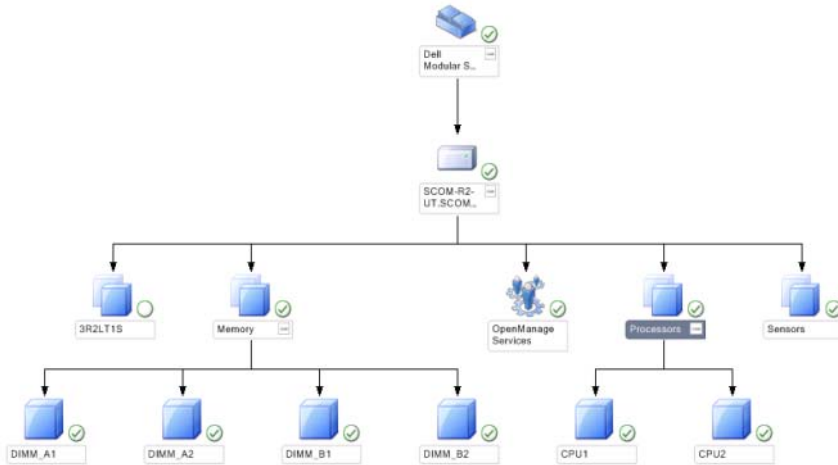
Detailed Management Pack は、メモリ、プロセッサ、および電源装置の各コンポーネントの詳細を表示します。

## Storage Controller Diagram (ストレージコントローラ ダイアグラム)

いずれの Dell System instance diagram view (Dell システムインスタンス ダイアグラム ビュー) で Storage (ストレージ) コンポーネントを展開すると、物理ディスク、コネクタ、仮想ディスクなどのコンポーネントの状態および正常性を表示できます。Detail View (詳細ビュー) ペインで詳細を表示するコンポーネントを選択します。各 Connector (コネクタ) インスタンスには、Sensors (センサー) および Physical Disk (物理ディスク) コンポーネントが含まれます。

## Dell Modular Servers Diagram (Dell モジュラサーバー ダイアグラム)

図 3-3 Dell Modular Servers Diagram (Dell モジュラサーバー ダイアグラム) - Detailed Management Pack

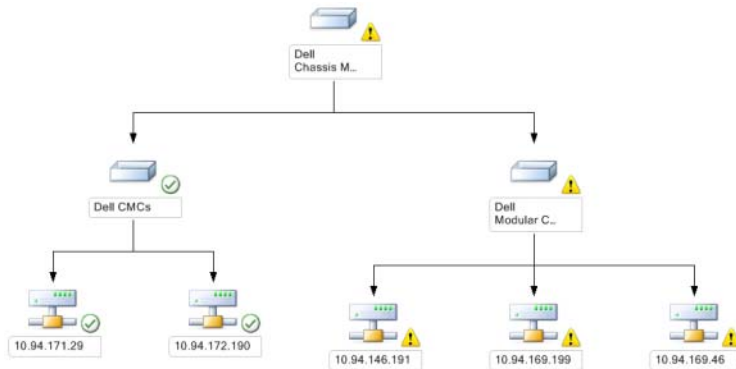


Dell Modular Servers Diagram (Dell モジュラサーバー ダイアグラム) は、すべての Dell モジュラシステムのグラフィカル表示を提供し、ダイアグラムから各デバイスとそのコンポーネントのステータスを確認できます。Detail View (詳細ビュー) ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。



## Chassis Management Controllers Group (シャーシ管理コントローラグループ)

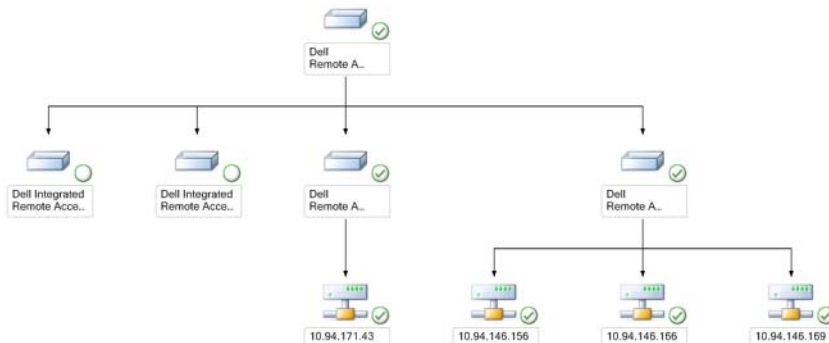
図 3-5 Chassis Management Controllers Group (シャーシ管理コントローラグループ)



Chassis Management Controllers Group (シャーシ管理コントローラグループ) ダイアグラムは、すべての Dell CMC、DRAC/MC デバイスのグラフィカル表示を提供します。Detail View (詳細ビュー) ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

## Remote Access Controllers Group (リモートアクセスコントローラグループ)

図 3-6 Remote Access Controllers Group (リモートアクセスコントローラグループ)






Remote Access Controllers Group (リモートアクセス コントローラ グループ) ダイアグラムは、すべての DRAC 4、DRAC 5、および iDRAC 6 (モジュラとモノリシック) デバイスのグラフィカル表示を提供します。

Detail View (詳細ビュー) ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

## コンポーネントの状態および重大度レベル

表 3-1 重大度レベルのインジケータ

| アイコン                                                                              | 重大度レベル                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 正常/OK。コンポーネントは予想どおりに動作しています。                                                                                                            |
|  | <b>警告 / 非重大。</b> プローブまたはその他モニターデバイスが許容レベルを超えるコンポーネントの読み取り値を検知しました。コンポーネントがまだ機能していても、エラーが発生する可能性があります。または、コンポーネントが不安定な状態で機能している可能性もあります。 |
|  | <b>重大 / 失敗 / エラー。</b> コンポーネントが故障している、または故障の可能性があります。このコンポーネントは即座に処置を要し、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生した可能性もあります。                                |
| 白色                                                                                | 特定のコンポーネントに対して、正常性ステータスは適用されません。                                                                                                        |
| 灰色                                                                                | サービスを利用できません。                                                                                                                           |

## 状態ビュー

このビューは、Dell Windows システム、Dell CMC および DRAC/MC、そして Dell Remote Access デバイスの管理に使用できます。Operations コンソールの Dell → State Views (状態ビュー) には、SCOM 2007 SP1/R2 によって管理されるネットワーク上の各 Dell デバイスのステータスを表示します。管理パックは、ネットワーク上の Dell デバイスの正常性を監視する際に役立つ重大度レベルのインジケータ一覧を提供しています。

State View (状態ビュー) を表示させるデバイスグループを選択します。たとえば、Dell モノリシックおよびモジュラシステムのステータスを表示するには、Servers (サーバー) をクリックします。次のグループのステータスを表示できます。

- CMC
- サーバー
- DRAC 4
- DRAC 5
- DRAC/MC
- iDRAC 6 Enterprise Modular (エンタープライズ モジュール)
- iDRAC 6

コンポーネントの正常性情報は、コンポーネントに関連付けられる未解決の警告をレビューすることで取得されます。i3-l は、Dell Server Management Pack Suite v4.0 で使用されるさまざまなコンポーネントの状態と対応する重要度レベルについて、説明しています。

## パフォーマンスおよび電源監視ビュー

このビューは、Dell Windows システムの管理にのみ使用できます。操作コンソールで、**Dell → Performance Views (パフォーマンスビュー)** を選択すると、Dell システムからパフォーマンスデータとして収集された電力管理情報が表示されます。電源監視には、次のパラメータが含まれます。

- 電源供給ごとのアンペア数
- 電力消費量 (ワット単位)
- 電力消費量 (BTU/時単位)
- エネルギー消費量
- ピーク電力
- ピークアンペア数
- 周辺温度



**メモ：**電力監視は、特定の属性に対して、電力監視機能が有効になっている Dell システムで利用できます。

個別の Performance View (パフォーマンスビュー) でカウンタ (凡例の下) を選択し、要求される値の時間範囲を選択します。収集されるデータは、各システムに対して、グラフィック形式で表示されます。

ユニットモニターは、2つの連続した周期にわたってパフォーマンスカウンタを監視し、しきい値の範囲内に収まっているかどうかを確認します。しきい値を超えると、サーバーの状態が変化し、警告が生成されます。ユニットモニターは、デフォルトで無効になっています。Operations コン



ソールの **Monitors for Dell Windows Server objects** (Dell Windows サーバーオブジェクトのモニター) 配下の **Authoring (オーサリング)** ペインで、しきい値をオーバーライド (有効化または修正) できます。

パフォーマンス情報の収集の詳細については、「パフォーマンス収集ルール」を参照してください。

## タスク

タスクは、Operations コンソールの **Actions (アクション)** ペインから実行できます。いずれの Dell ダイアグラムビューでデバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連タスクが **Actions (アクション)** ペインに表示されます。

**Launch Server Administrator (Server Administrator の起動)** および **Clear ESM Logs (ESM ログのクリア)** の両タスクを、Diagram view (ダイアグラムビュー)、State view (状態ビュー) または Alert view (警告ビュー) から実行できます。

Dell 管理パックを使用して実行できる Dell タスクの概要については、「i3-2」で説明されます。

**表 3-2 SCOM 2007 SP1/R2 用管理パックを使用した Dell タスク**

| <b>Dell タスク</b>                                                                   | <b>説明</b>                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Dell モジュールおよびモノリシックシステムのタスク</b>                                                |                                                                                              |
| <b>Clear ESM Logs (ESM ログのクリア)</b>                                                | 対象システムの Embedded System Management (ESM) ログの内容をバックアップし、ESM ログファイルをクリアにします。                   |
| <b>Launch Server Administrator (Server Administrator の起動)</b>                     | Launches the Dell OpenManage Server Administrator (Dell OpenManage Server Administrator の起動) |
| <b>電源ステータスの確認</b>                                                                 | システムの全体的な電源ステータスを確認します。                                                                      |
| <b>強制電源オフ</b>                                                                     | オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。                                                      |
| <b>Launch InBand Dell Remote Access Console (帯域内 Dell Remote Access コンソールの起動)</b> | 帯域内で検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。                                                           |

**表 3-2 SCOM 2007 SP1/R2 用管理パックを使用した Dell タスク (続き)**

| <b>Dell タスク</b>                                                                           | <b>説明</b>                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| <b>パワーサイクル (電源再投入)</b>                                                                    | 電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。                          |
| <b>正常電源オフ</b>                                                                             | オペレーティングシステムをまずシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。           |
| <b>電源オン</b>                                                                               | システムの電源をオンにします。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合のみ、利用できます。 |
| <b>電源リセット</b>                                                                             | システムの電源をオフにしてから、再度オンにします。                            |
| <b>LED 識別表示オン</b>                                                                         | 対象システムの LED 識別表示を 255 秒間オンにします。                      |
| <b>LED 識別表示オフ</b>                                                                         | 対象システムの LED 識別表示をオフにします。                             |
| <b>DRAC 4/ DRAC 5/ iDRAC タスク</b>                                                          |                                                      |
| <b>Launch InBand Dell Remote Access Console (帯域内 Dell Remote Access コンソールの起動)</b>         | 検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。                       |
| <b>Dell CMC、DRAC/MC タスク</b>                                                               |                                                      |
| <b>Launch Dell CMC Console (Dell CMC コンソールの起動)</b>                                        | CMC コンソールを起動します。                                     |
| <b>Launch Dell Modular Chassis Remote Access Console (Dell モジュラシャーシリモートアクセス コンソールの起動)</b> | DRAC/MC コンソールを起動します。                                 |

## Dell モジュラおよびモノリシックシステムのタスク

### Clear ESM Logs (ESM ログのクリア)

Server Administrator Embedded Server Management (ESM) ログは、ハードウェアログとも呼ばれ、エラー修正コード (ECC)、システムリセットおよび起動、プローブしきい値の変更などのハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントの一覧を管理します。ハードウェアエラーの発生時やシステムが正常に動作していない場合に、このログを参照することができます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、対象の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインの Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) 配下の Clear ESM Logs (ESM ログのクリア) をクリックします。Run Tasks (タスクの実行) ウィンドウが表示されます。
- 4 選択したデバイスの ESM ログをクリアにするには、Run (実行) をクリックします。


Clear ESM Logs (ESM ログのクリア) タスクが実行されると、タスク実行画面にタスクの開始結果が表示されますが、これは、タスクの実行結果との関連性はありません。たとえば、タスク実行画面には、ESM ログがクリアされなくても、成功の結果を表示する場合があります。これは、Clear ESM Logs (ESM ログのクリア) タスクの開始に成功したことを意味します。

### Launch Server Administrator (Server Administrator の起動)

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインの Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) 配下の Launch Server Administrator (Server Administrator の起動) をクリックします。



**メモ** : Launch Server Administrator (Server Administrator の起動) および Clear ESM Logs (ESM ログのクリア) の両タスクを、Diagram view (ダイアグラムビュー)、State view (状態ビュー) または Alert view (警告ビュー) から実行できます。

 **メモ** : Dell 管理パックタスクは、Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

### 電源ステータスの確認

システムの全体的な電源ステータスを確認します。電源ステータスを確認して、IPMI シェルを介した電源制御タスクを実行できます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Check Power Status (電源ステータスの確認) の順で選択します。

### パワーサイクル

電源をオフにして、しばらくしてから、電源をオンにします。このタスクを使用して、サーバーのパワーサイクルを実施できます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Power Cycle (パワーサイクル) の順で選択します。

### 強制電源オフ

オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。このタスクを実行して、サーバーの電源をオフにできます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Force Power Off (強制電源オフ) の順で選択します。

### 正常電源オフ

オペレーティングシステムをまずシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。このタスクを実行して、サーバーの電源をオフにできます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Power Off Gracefully (正常電源オフ) の順で選択します。

## 電源オン

システムの電源をオンにします。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合のみ、利用できます。このタスクを使用して、サーバーの電源をオンにできます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Power On (電源オン) の順で選択します。

## 電源リセット

システムの電源をオフにしてから、再度オンにします。このタスクを実行して、サーバーの電源をリセットできます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Power Reset (電源リセット) の順で選択します。

## LED 識別表示オフ

このタスクを実行して、選択したシステムの LED 識別表示をオフにできます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Turn LED Identification Off (LED 識別表示オフ) の順で選択します。

## LED 識別表示オン

対象システムの LED 識別表示を 255 秒間オンにします。このタスクを実行して、選択したシステムの LED 識別表示をオンにできます。

- 1 Operations コンソールで、ダイアグラムビューに移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、Dell Windows Server Tasks (Dell Windows サーバータスク) → Turn LED Identification On (LED 識別表示オン) の順で選択します。

## Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク

### DRAC 4/ DRAC 5/ iDRAC 6

ご利用の Dell システムに DRAC が搭載されている場合は、このタスクを使用して Dell Remote Access Console を起動できます。

- 1 Operations コンソールで、Dell diagram view (ダイアグラムビュー)、state view (状態ビュー) または alert view (警告ビュー) に移動します。
- 2 ダイアグラムを展開し、任意の Dell システムを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、SNMP Network Device Tasks (SNMP ネットワークデバイス タスク) → Launch Dell RemoteAccess Console (Dell RemoteAccess Console の起動) の順で選択します。

## Dell Chassis Management Controller (CMC) タスク

### CMC

このタスクを実行して、CMC コンソールを起動できます。

- 1 Operations コンソールで、Dell diagram view (ダイアグラムビュー)、state view (状態ビュー) または alert view (警告ビュー) に移動します。
- 2 CMC デバイスを選択します。
- 3 Actions (アクション) ペインで、SNMP Network Device Tasks (SNMP ネットワークデバイス タスク) → Launch Dell CMC Console (Dell CMC Console の起動) の順で選択します。

## DRAC/MC

このタスクを実行して、DRAC/MC コンソールを起動できます。

- 1 Operations コンソールで、Dell diagram view (ダイアグラムビュー)、state view (状態ビュー) または alert view (警告ビュー) に移動します。
- 2 DRAC/MC デバイスを選択します。

Actions (アクション) ペインで、SNMP Network Device Tasks (SNMP ネットワークデバイス タスク) → Launch Dell Modular Chassis Remote Access Console (Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動) の順で選択します。

## レポート

Dell Server Management Pack Suite v4.0 では、レポート機能が提供されています。OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 構成のあらかじめ準備された各種レポートを作成できます。

Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 構成の各種レポートは、Detailed Server Management Pack でのみ利用可能です。Scalable Server Management Pack のみを選択した場合、これらのレポートを閲覧することはできません。

レポート機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 Operations コンソールで Reporting (レポート) をクリックします。
- 2 ナビゲーションペインの Reporting (レポート) を展開します。
- 3 Windows イベントログのレポートにアクセスするには、Dell Windows Server Scalable Edition をクリックし、BIOS、ファームウェア、および RAID のレポートにアクセスするには、Dell Windows Server Detail Edition をクリックします。

サーバーインスタンスをクリックすることで、ダイアグラムビューからレポート機能にアクセスできます。Dell Reports (レポート) のオプションは、Dell システムインスタンスの Actions (アクション) ペインにデフォルトの Microsoft レポートとともにあります。

## OpenManage Windows イベントログ

- 1 OpenManage Windows Event Log (OpenManage Windows イベントログ) をクリックします。Actions (アクション) ペインで Open (開く) をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 Add Object (オブジェクトの追加) または Add Group (グループの追加) をクリックします。
- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、Search (検索) をクリックします。Add (追加) をクリックします (複数のオブジェクトを追加できます)。選択したオブジェクトペインにオブジェクトが表示されます。
- 5 生成するレポートの対象となるイベントの重要度を選択します。
- 6 Run (実行) をクリックします。OpenManage Windows Event Log (OpenManage Windows イベントログ) レポートが生成されます。

## BIOS の設定

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順に従います。

- 1 BIOS Configuration (BIOS 設定) をクリックします。Actions (アクション) ペインで Open (開く) をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 Add Object (オブジェクトの追加) または Add Group (グループの追加) をクリックします。
- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、Search (検索) をクリックします。Add (追加) をクリックします (複数のオブジェクトを追加できます)。選択したオブジェクトペインにオブジェクトが表示されます。
- 5 必要とする Properties (プロパティ) を選択します。
- 6 Run (実行) をクリックします。BIOS 設定レポートが生成されます。



**メモ** : BMU が管理サーバーに取り付けられている場合のみ、BMC レポートを作成できます。



## ファームウェアおよびドライバのバージョン

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順に従います。

- 1 **Firmware and Driver Versions (ファームウェアおよびドライババージョン)** をクリックします。Actions (アクション) ペインで **Open (開く)** をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 **Add Object (オブジェクトの追加)** または **Add Group (グループの追加)** をクリックします。
- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、**Search (検索)** をクリックします。Add (追加) をクリックします (複数のオブジェクトを追加できます)。選択したオブジェクトペインに選択したオブジェクトが表示されます。
- 5 必要とする **Properties (プロパティ)** を選択します。
- 6 **Run (実行)** をクリックします。ファームウェアおよびドライババージョンのレポートが生成されます。

## RAID 構成

- 1 **RAID Configuration (RAID 構成)** をクリックします。Actions (アクション) ペインで **Open (開く)** をクリックします。
- 2 生成するレポートの対象期間を選択します。
- 3 **Add Object (オブジェクトの追加)** または **Add Group (グループの追加)** をクリックします。
- 4 オブジェクトまたはグループを検索するには、**Search (検索)** をクリックします。Add (追加) をクリックします (複数のオブジェクトを追加できます)。選択したオブジェクトペインに選択したオブジェクトが表示されます。
- 5 必要とする **Properties (プロパティ)** を選択します。
- 6 **Run (実行)** をクリックします。RAID 構成レポートが生成されます。

# Dell Server Management Pack Suite のカスタマイズ

Dell Server Management Pack Suite v4.0 を使用することで、ご利用の Dell デバイスの検出、監視、およびイベント処理をカスタマイズすることができます。Dell 管理パックの以下のコンポーネントをカスタマイズできます。

- **Monitors (モニター)** : 監視対象オブジェクトに起きるさまざまな状況を評価するために使用します。この評価により、ターゲットの正常性状態と生成される警告が決定されます。
- **Object Discoveries (オブジェクト検出)** : Object discoveries (オブジェクト検出) は、監視対象ネットワーク上のオブジェクトを見つけるために使用されます。
- **Rules (ルール)** : Rules (ルール) は、管理下オブジェクトによって生成されるイベントなどのデータを収集するために使用されます。



**メモ** : 詳細に関しては、Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1/R2 のマニュアルを参照してください。

## ユニットモニター

オーバーライドを使用することで、Dell Server Management Pack Suite v4.0 ユニットモニターの次のパラメータをカスタマイズできます。

- **Enabled (有効)** : モニターを有効または無効にできます。Override Setting (**オーバーライド設定**) を True または False に設定できます。
- **Interval in Seconds (秒数間隔)** : Dell 管理パックがコンポーネントの正常性を確認するために、Dell デバイスからポーリングする頻度 (秒数)。

次のユニットモニターがあります。

- **Event Monitor (イベントモニター)** : このモニターは、Dell 計装が Windows イベントログに記録するオブジェクトの正常性を示すイベントによってトリガーされます。
- **Unit Monitor (ユニットモニター)** : このモニターは、IntervalSeconds で設定された定期的なポーリングによってトリガーされます。

i 3-3 は、さまざまな Dell モニターと Dell デバイスに適用できるパラメータを説明しています。

**表 3-3 管理パックにおける Dell ユニットモニター**

| <b>グループ</b>                            | <b>ユニットモニター</b> |
|----------------------------------------|-----------------|
| Memory Group (メモリグループ) オブジェクト          | イベントおよび定期       |
| メモリユニット インスタンス                         | イベントおよび定期       |
| <b>OpenManage ソフトウェアサービス</b>           |                 |
| • DSM 接続サービス                           | Windows サービス    |
| • DSM データマネージャ                         | Windows サービス    |
| • DSM イベントマネージャ                        | Windows サービス    |
| • DSM 共有サービス                           | Windows サービス    |
| • DSM ストレージサービス                        | Windows サービス    |
| • WMI サービス                             | Windows サービス    |
| Power Supplies Group (電源装置グループ) オブジェクト | イベントおよび定期       |
| Power Supplies Unit (電源装置ユニット) インスタンス  | イベントおよび定期       |
| Processor Group (プロセッサグループ) オブジェクト     | イベントおよび定期       |
| Processor Unit (プロセッサユニット) インスタンス      | イベントおよび定期       |
| <b>Sensor Group (センサーグループ) オブジェクト</b>  |                 |
| • バッテリー                                | イベントおよび定期       |
| • 電流                                   | イベントおよび定期       |
| • ファン                                  | イベントおよび定期       |
| • イントルージョン                             | イベントおよび定期       |
| • 温度                                   | イベントおよび定期       |
| • 電圧                                   | イベントおよび定期       |
| ストレージコントローラ                            | イベントおよび定期       |

**表 3-3 管理パックにおける Dell ユニットモニター（続き）**

| グループ                                                         | ユニットモニター  |
|--------------------------------------------------------------|-----------|
| Storage Controller Connector (ストレージコントローラ コネクタ) インスタンス       | イベントおよび定期 |
| Storage Controller EMM (ストレージコントローラ EMM) インスタンス              | イベントおよび定期 |
| Storage Controller Enclosure (ストレージコントローラ エンクロージャ) インスタンス    | イベントおよび定期 |
| Storage Controller Physical Disk (ストレージコントローラ 物理ディスク) インスタンス | イベントおよび定期 |
| Storage Controller Power Supply (ストレージコントローラ 電源装置) インスタンス    | イベントおよび定期 |
| Storage Controller Sensors (ストレージコントローラ センサー) インスタンス         | イベントおよび定期 |
| Storage Controller Virtual Disk (ストレージコントローラ 仮想ディスク) インスタンス  | イベントおよび定期 |
| Storage Enclosure Physical Disk (ストレージエンクロージャ物理ディスク) インスタンス  | イベントおよび定期 |
| Storage Enclosure Power Supply (ストレージエンクロージャ電源装置) インスタンス     | イベントおよび定期 |
| Storage Enclosure Sensors (ストレージエンクロージャ センサー) インスタンス         | イベントおよび定期 |

## Object Discoveries (オブジェクト検出)

オーバーライドを使用して、次の Dell 管理パックの検出パラメータをカスタマイズすることができます。

**Enabled (有効)** : 検出を有効または無効にできます。**Override Setting (オーバーライド設定)** を True (真) または False (偽) に設定できます。

**Interval in Seconds (秒数間隔)** : Dell 管理パックが、Dell デバイスのコンポーネント インスタンスおよびその属性を検出する頻度 (秒数)。この属性のデフォルト値は、24 時間 (1 日) です。

表 3-4 Dell 検出

| 検出オブジェクト                                    | 説明                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Dell Server BIOS Discovery                  | 各 Dell システムの BIOS オブジェクトを検出します。                                                                                                                                                                             |
| Dell サーバー                                   | Dell システムを分類し、基本属性を自動投入します。                                                                                                                                                                                 |
| Dell Server Hardware Components Discovery   | ハードウェアコンポーネントをグループレベル (Sensors (センサー)、Processor (プロセッサ)、Memory (メモリ)、および Power Supplies (電源装置)) で検出し、ご利用の Dell システムの属性 (OpenManage Server Administrator、DRAC、IPMI 機能搭載の Remote Access IP などの起動ポイント) も検出します。 |
| OpenManage Software Services Discovery      | Dell OpenManage™ Server Administrator Windows サービスおよび WMI のオブジェクトを検出します。                                                                                                                                    |
| Dell Server Detailed Memory Discovery       | Dell システムのメモリインスタンスを検出します。                                                                                                                                                                                  |
| Dell Server Detailed Power Supply Discovery | Dell システムの電源装置インスタンスを検出します。                                                                                                                                                                                 |
| Dell Server Detailed Processor Discovery    | Dell システムのプロセッサインスタンスを検出します。                                                                                                                                                                                |
| Dell Server Detailed Storage Discovery      | Dell システムの完全なストレージ階層を検出します。                                                                                                                                                                                 |

## ルール

### Dell システムイベントの処理ルール

Dell 管理パックが、Server Administrator、Server Administrator Storage Management イベント、DRAC、および CMC トラップからのルールを処理します。

### サーバー管理者

Server Administrator のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- Source Name (ソース名) = "Server Administrator"
- Event ID (イベント ID) = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- Severity (重大度) = 実際のイベントの重大度
- Data Provider (データプロバイダ) = Windows システムのイベントログ

### Storage Management (ストレージ管理)

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- Source Name (ソース名) = "Server Administrator"
- Event ID (イベント ID) = Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- Severity (重大度) = 実際のイベントの重大度
- Data Provider (データプロバイダ) = Windows システムのイベントログ

## DRAC / CMC

DRAC/CMC のすべての情報、警告、および重大な SNMP トラップには、それぞれ該当する SNMP トラップのルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- Source Name (ソース名) = "DRAC/CMC name/ip"
- OID = DRAC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- Severity (重大度) = 実際のイベントの重大度
- Data Provider (データプロバイダ) = SNMP トラップ

## パフォーマンス収集ルール

以下のパラメータ情報を収集する 7 つのパフォーマンス収集ルールがあります。

- 電源供給ごとのアンペア数
- 電力消費量 (ワット単位)
- 電力消費量 (BTU/ 時単位)
- エネルギー消費量
- ピーク電力
- ピークアンペア数
- 周辺温度

操作コンソールで **Dell → Performance and Power Monitoring Views (パフォーマンスと電源監視ビュー)** の順に選択すると、Dell システムから収集されたパフォーマンス情報が表示されます。この機能は、Scalable Server Management Pack のインストールで提供されます。この機能は、デフォルトでは無効になっています。この機能を有効にするには、次のようにします。

- 1 Operations コンソールで、**Authoring (オーサリング)** ペインを開きます。
- 2 **Rules (ルール)** を選択します。
- 3 有効にするルールを右クリックします。

たとえば、Dell システムのエネルギー消費量に関する情報の収集を有効にするには、Dell Server Energy Consumption (サーバーエネルギー消費量) 収集ルールを選択します。

- 4 Overrides (オーバーライド) → Override the rule (ルールをオーバーライドする) → For all objects of class (クラスのすべてのオブジェクト) の順で選択します。
- 5 Override (オーバーライド) を選択し、Override value (オーバーライド値) を True にします。
- 6 Apply (適用) をクリックします。

また、Detailed Server Management Pack のインポート時に、これらのパフォーマンス収集ルールの無効化は、デフォルトで有効になっています。



# 付録 A- SCOM 2007 SP1/SCE SP1 の既知の問題

SCOM 2007 SP1/R2 の既知の問題は、次のとおりです。

- 1 Dell™ Management Pack の Diagram View (ダイアグラムビュー) で、**断続的に真っ黒な画面が表示されます。**

SCOM 2007 SP1 の Diagram View (ダイアグラムビュー) で、断続的に真っ黒な画面が表示されます。画面を何回更新しても、実際の Diagram View (ダイアグラムビュー) が表示されません。

- 2 管理下システムで WMI サービスを停止すると、SCOM コンソールから Dell システムが消えます。

SCOM によって検出された Diagram View (ダイアグラムビュー) に表示される Windows システムの WMI サービスを停止すると、その検出された Windows システムは SCOM コンソールから消えます。

- 3 Dell の警告が時間別にソートされません。

この問題が発生しているマシンのレジストリを確認します。ソートフラグが「false」に設定されたままのビュー定義が残っている可能性があります。ソートフラグが変更された管理パックをインポートすると、レジストリで更新されない場合があります。ビューの設定をレジストリから削除することで、同じビューに再びアクセスすると、新しい管理パックが再作成されます。レジストリでソートフラグを編集することも可能です。

レジストリの編集：

```
HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Microsoft Operations
Manager\3.0\Console\%GUID.ViewTitle%AlertViewAge
```

ソートを有効にするには、IsSortable および IsSorted を「1」に設定します。

- 4 特定の条件下において、以下のメッセージが管理ステーションの操作コンソールに表示されます。

- MonitoringHost.exe ハンドル数閾値警告メッセージ (管理サーバー)
- MonitoringHost.exe プライベートバイト数閾値警告メッセージ (管理サーバー)

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB968760 でこの問題は解決します。

- 5 特定の条件下において、イベント ID 623 および Health Service ESE Store としてのイベントソースを持つ管理ステーションの操作コンソールにエラーメッセージが表示されます。

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB975057 でこの問題は解決します。

## 既知の制限

### SCOM / SCE

**Path Name (パス名) 属性値は、すべての Dell ハードウェアデバイスに対して、一意かつ適切であるとは限りません。**

エージェントベースの検出デバイスと SNMP ベースの検出デバイスの Path Name (パス名) 属性値は、それぞれ異なります。これは、SCOM 2007 の設計によるものです。

### SCE

Dell ネットワークデバイス (DRAC/CMC) の Diagram view (ダイアグラムビュー) で、Dell ネットワークデバイスオブジェクト配下の SNMP インタフェースオブジェクトを表示できます。これは、Microsoft の管理パックの Microsoft.SystemCenter.NetworkDevice.Monitoring.Library.mp で実装されています。

### SCOM / SCE および Dell Server Management Pack Suite v4.0

- **セキュリティ** : Dell 管理パックの電源制御および LED タスクを行う際、管理パックの認証時に、パスワードは平文で表示されます。

Dell 管理パックは、Operator Console Authoring Pane (認証ペイン) で BMS のログイン資格を表示します。これは、ipmitools の現在の設計 (資格情報をプレーンテキストのコマンドラインとして受け付け

る)によるもので、RunAsAccounts を使用する OpsMgr のユーザー資格管理とは一致しないためです。

- Health Explorer の使用時に、サブインスタンスが存在していないにもかかわらず、Dell 管理パックの一部のユニットモニタ (Sensors および OpenManage Services インスタンス配下) が緑色のステータスを表示する場合があります。これは、ターゲットクラスが存在していて、ユニットモニタが実行されたときに、ユニットモニタに「Unavailable (使用不可能)」の状態になることができないためです。

## Dell Server Management Pack Suite v4.0

- Dell システムのハードウェアログの正常性は、Dell 管理パックによって監視されていません。ただし、Server Administrator 上でご利用の Dell システムのハードウェアログを閲覧できます。
- Dell 管理パックは、Dell 管理パックのオブジェクトに対して、イベントビューデータを投入しません。
- OpenManage 6.1 において、OpenManage Lifecycle Controller のストレージサイズは、たとえ同ハードウェアが存在していても、「Not applicable (該当なし)」と表示されます。
- Dell ネットワーク機器の Diagram view (ダイアグラムビュー) では、Dell DRAC および CMC オブジェクトの基本属性が表示されます。State view (状態ビュー) でオブジェクトをクリックすることで、詳細な属性を表示できます。
- Sensors (センサー) 配下のイントルージョンユニットモニタのステータスは、シャーシのみの状態を示すものであり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。

## SCOM 2007 SP1 の Microsoft® フィックス

### 1 SCOM コンソールにランタイムエラーが表示されます。

次のメッセージと共に、ランタイムエラー (Microsoft Visual C++ ランタイムライブラリ) が時々表示されます。Runtime Error!Program: C:\Program Fil... R6025 - pure virtual function call. 開発/テスト環境にて、このようなウィンドウが1つ以上表示されました。Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB951526 でこの問題は解決します。

**2 Windows Server 2008 または Windows Vista™ で Health Explorer ウィンドウを開くと、System Center Operations Manager 2007 コンソールがクラッシュする場合があります。**

Alerts view（警告ビュー）で、アイテムを右クリックして Health Explorer ウィンドウを開くと、System Center Operations Manager 2007 コンソールがクラッシュする場合があります。Windows Server 2008 または Windows Vista で監視オブジェクトを表示するために、Health Explorer を使用できません。

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB951327 でこの問題は解決します。

**3 Operations Manager エージェントシステムを Windows Server 2003 から Windows Server 2008 にアップグレードすると、コンピュータ上で Health Service が開始されません。**

この問題は、Health Service がセキュアストレージのデータ暗号化の証明書を保管する場所が、アップグレードにより削除されるためです。Health Service のセキュアストレージマネージャ コンポーネントを初期化する際、証明書のシリアル番号が設定されていても、保管場所が存在しない場合は、初期化に失敗します。

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB954049 でこの問題は解決します。

**4 Windows Server 2008 のユーザーアカウント制御（UAC）が変更されているため、Operations Manager ウェブコンソールはページを正常に表示できません。**

次のいずれかの、または複数の問題が発生する場合があります。

- ウェブコンソールが開かない。
- My Workspace（マイワークスペース）ページが表示されない。
- パフォーマンスおよび電源監視ビューが表示されない。

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB954049 でこの問題は解決します。

**5 Operations Manager Management Server の役割を担うコンピュータを Windows Server 2003 から Windows Server 2008 アップグレードすると、Operations Manager のパフォーマンスカウンタが登録されません。**

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB954049 でこの問題は解決します。

**6 管理コンソールのレポートスペースで、レポートが正しく表示されません。**

Microsoft System Center Operations Manager 2007 Service Pack 1 (SP1) サーバーに関するレポートを含む System Center Operations Manager Management Pack をインストールするとき、または、Microsoft System Center Essentials 2007 SP1 サーバーに関するレポートを含む System Center Essentials Management Pack をインストールすると、管理コンソールのレポートスペースにレポートが正常に表示されません。

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB954643 でこの問題は解決します。

**7 SCOM コンソールに Health service エラーメッセージが表示されません。SCOM が「Health service host process has stopped working (Health service ホストプロセスが停止しました)」のエラーを生成します。**

「Health service Host Process encountered a problem and needed to close (Health service ホストプロセスに問題が発生したため、終了する必要がありました)」のエラーメッセージが時々ポップアップ表示されます。Health Service のクラッシュにより、Dell デバイスの検出および監視に異常な動作が見られる場合もあります。

Microsoft サポートサイト ([support.microsoft.com](http://support.microsoft.com)) で利用可能な Microsoft KB951526 でこの問題は解決します。



# 用語集

以下のリストは、このマニュアルで使用される技術用語、略語、頭字語の定義や意味を説明しています。

## **BMC**

ベースボード管理コントローラの省略。このコントローラは IPMI 構造にインテリジェンスを提供します。

## **CMC**

シャーシ管理 コントローラの頭字語

## **DRAC**

Dell Remote Access Controller の略語。

## **DRAC/MC**

DRAC / モジュラシャーシ

## **EMM**

エンクロージャ管理モジュール

## **FQDN**

完全修飾ドメイン名 (Fully Qualified Domain Names) の略語。FQDN は、コンピュータ、ルーター、またはその他のネットワーク機器のネットワークインタフェースに割り当てられる TCP/IP アドレスを人間が理解しやすくするために付けられた名前です。これには、ホスト名およびドメイン名も含まれます。

## **iDRAC**

Integrated Dell Remote Access Controller の頭字語。

## **Intelligent Platform Management Interface (IPMI)**

コンピュータのハードウェアおよびファームウェアの一連の共通インタフェースを定義する仕様。システムの正常性の監視およびシステムの管理に使用されます。

## **帯域内 DRAC**

Server OS および Dell 計装により、プライマリ NIC IP を介して検出される DRAC オブジェクト。

## 管理下システム

管理下システムは Server Administrator を使ってモニタされ管理されるシステムです。Server Administrator を実行しているシステムは、サポートされているウェブブラウザを使用してローカルまたはリモートから管理できません。

## 管理ステーション

管理ステーションは、1 つまたは複数の管理下システムを中央からリモート管理するために使用できる、任意の Microsoft® Windows ベースのコンピュータ（ラップトップ、デスクトップ、またはサーバー）です。

## モジュラシステム

複数のサーバーモジュールを含んだシステム。各サーバーモジュールは個別のシステムとして機能します。システムとして機能するには、電源装置、ファン、システム管理モジュール、および1 つ以上のネットワークスイッチモジュールが含まれたシャーシにサーバーモジュールを挿入します。電源装置、ファン、システム管理モジュール、およびネットワークスイッチモジュールは、シャーシにあるサーバーモジュールの共有リソースです。「サーバーモジュール」を参照。

## モノリシックシステム

モジュラシステムとは異なり、単一のサーバーモジュールが搭載されるスタンドアロンまたはタワー型のサーバー。

## 帯域外 DRAC

DRAC カードの NIC IP から直接検出される DRAC オブジェクトを指しません。

## サーバーモジュール

ローカルシステムとして機能するモジュラーシステム部品。システムとして機能するには、電源装置、ファン、システム管理モジュール、および1 つ以上のネットワークスイッチモジュールが含まれたシャーシにサーバーモジュールを挿入します。電源装置、ファン、システム管理モジュール、およびネットワークスイッチモジュールは、シャーシにあるサーバーモジュールの共有リソースです。モジュラシステムを参照してください。

## 状況（状態）

1 つ以上の条件を持つオブジェクトの状況を指します。たとえば、オブジェクトは「準備中」状況である場合があります。



## **ステータス**

オブジェクトの正常性や機能の状態を指します。たとえば、温度プローブが許容範囲内の温度を測定した場合、正常ステータスとなります。ユーザーが設定した制限温度を超えた値がプローブによって読み取られると、重要ステータスが報告されます。

## **タスク**

タスクとは、問題の診断や解決、または繰り返し実行される作業の自動化を目的として開始する処置です。タスクは、Operations Manager 2007 Operators Console（操作コンソール）から開始されます。



# 索引

## D

Dell タスク

CMC, 46

DRAC, 46

ESM ログのクリア, 43

Dell デバイス

検出, 30

Dell デバイスの検出, 30

Dell 管理パック

アップグレード, 25

機能, 8

削除, 26

DRAC および CMC デバイスの

対応ファームウェアバージョン, 15

パフォーマンス収集ルール, 55

ユーザーロール, 26

ルール, 54

DRAC/CMC, 55

ストレージ管理, 54

レポート, 47

管理ステーションの要件, 19

状態コンポーネントおよび重大  
度レベル, 39

対応 Dell デバイス, 15

対応 OS, 15

インポート後のタスク

Dell Server MP, 22

Dell Server および Printer MP, 22

サーバー管理パック

タスク, 41

監視, 32

検出, 30

テクニカルサポート, 18

パフォーマンスおよび電源監視

ビュー, 40

